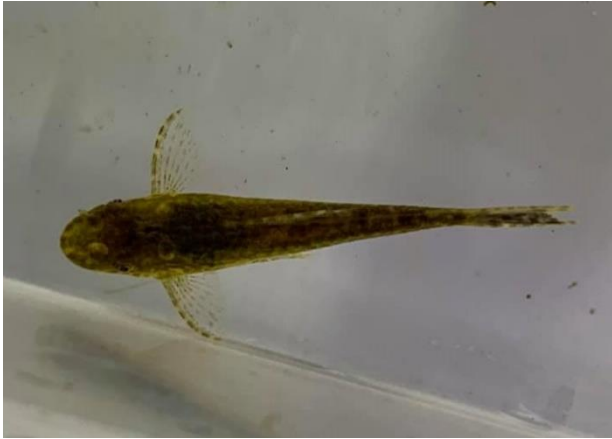


オトシンネグロの繁殖を楽しもう

繁殖可能なオトシンネグロの雌雄

オス

上から見ると体型がスレンダー



メス

オスよりも大型になりお腹が膨らんでいる(卵がお腹にある)



必要なもの(あるといいもの)

- ・30cm~の水槽
- ・ヒーター
- ・水替え用品
- ・インフゾリアの素
- ・ベビーブラインシュリンプ(稚魚用のエサ)
- ・フィルター
- ・隔離箱(サテライト)
- ・プレコ用人工飼料

まずはしっかり栄養を与え成長させる

体内で卵を作るには栄養がたくさんいるので、しっかりとエサを与えて親魚を太らせましょう。1日最低2回程度餌を与えましょう。

産卵用飼育環境

他魚種がいると産卵した際に卵を食べられてしまうため、ネグロだけの水槽で産卵させましょう。レイアウトはシンプルなほうが、稚魚を隔離する際に取りやすいです。26℃程度、弱酸性の水質を保つようにしましょう。

オトシンネグロの繁殖行動・産卵・孵化

しっかり成長したオスがメスを追いかけてまわすような行動が始まったら産卵間近です。

翌日にはガラス面や水草の表面、フィルターパイプ等に粘着性の弱い卵が産卵されているでしょう。

産卵から3日ほどでふ化します。稚魚はヨークサックがあるので孵化後3日程度はエサ無しで成長します。

ヨークサックが吸収された頃を見計らってサテライトなどの隔離箱に隔離しましょう。スポイトで吸い取って隔離する方法がおすすめです。隔離しないとエサが行き渡らず餓死してしまう事が多いので必ず隔離しましょう。

また、ネグロの卵は卵膜が薄く柔らかいためつぶれやすいので卵での隔離はおすすめしません。



隔離にはエアレーションが接続でき、グレードアップセットⅡ（稚魚流出防止ネット）がオプションで付けられるサテライトがおすすめ♪

稚魚を育てよう！！

ヨークサックの吸収が終わった稚魚にはインフゾリアを沸かして与えます。

「インフゾリアの素」を使うと簡単に沸かすことができます。



孵化後1週間程度したらブラインシュリンプベビーを与えます。



孵化後3週間ほど経つと人工飼料を食べるようになりますが、個体によってはなかなか食べない子もいるのでブラインベビーも与えましょう。



孵化後1か月で10mm程度まで成長し、親と変わらない姿になります。ここまでくれば人工飼料もしっかり食べるようになるので本水槽で親と一緒に飼育可能です。

- ・エサは1日1回ではなく、少量をこまめに与えよう！！
- ・水質の変化やPHの低下に弱いので注意！！



インフゾリアの素



冷凍ブラインベビー



オクトプレコフード